日刊建設工業新聞創刊90周年企画　大日本コンサルタント株式会社

信頼のもと社会に必要とされる企業グループへ

代表取締役社長執行役員　新井 伸博

大日本コンサルタントの新井伸博社長は、2016年9月の就任以来、「創造と変革」を掲げ、時代の変化に対応するビジネスモデルの創造に力を注いでいる。社員全員が仕事を楽しむ会社にすべく「働き方改革」にも先頭に立って取り組む。社会に貢献している実感こそが、働くモチベーションになると話す新井社長に同社の経営方針を聞いた。

誠実が会社の原動力

当社は創立55年目を迎えました。創業以来、誠実に技術に向き合い、挑戦をもって現状を変革することで成長してきました。成長は挑戦が無いと生まれませんが、挑戦する課題を見つける過程では、誠実に事実に向き合う姿勢が欠かせません。このように、誠実な姿勢は挑戦する気概を生み成長を促す根幹部分であると確信しており、当社の大切なDNAだと認識しています。当社は橋梁の技術者集団から始まり、周辺分野に挑戦し、着実に事業を拡大してきましたが、これも顧客の声に誠実に対応する気持ちが原動力になったと認識しています。

NE進化論

会社を進化させるキーワードとして、新化、深化、真価を抽出して取り組んでいます。それぞれ、新規事業への挑戦、コアコンピタンスの充実と新技術の取り込み、既存領域でのマネジメント強化による顧客満足レベルの引き上げ、を目指すものです。

新規事業への挑戦については、それぞれ異なる分野のバックボーンを持つ技術者50名からなるインフラ技術研究所を中心に、研究と実践を重ねています。他分野、他業種との連携も積極的に張り巡らし、着眼点の多様性を確保しながら、次の世代に繋げるビジネスモデルを創造しています。今年は、再生エネルギー推進部と分野のチームが研究所から巣立ち、新エネルギー推進部として独り立ちしました。関連会社も2社設立して社長も2名誕生しています。新しいビジネスを若い社長に任せて、経営者感覚を早いうちから体得してもらうことも織り込んでいます。研究開発と人材育成をリンクさせ、技術をベースにマネジメントができる社員を増やしていきます。

コアコンピタンスの充実、新技術の取り込みでは、各種構造解析手法の高度化の取り込み、構造物保全分野におけるAI技術の実装、空中物理探査手法の改善、多自然川づくりのノウハウ充実、ビッグデータの活用等、実業務における高度化に対応する技術力の充実を実施しています。また、魅力的なデザインや親しみやすい広報のように、土木業界の外側にいる一般の方々との関係性を進化させることも、社会課題の解決策として有効と考えています。一企業として出来ることは微力ながら、市民の皆様から愛着をもって利用されるインフラを生み出すべく、センスを磨き、進化させることにも注力しています。

マネジメント強化は、時代の要請である官民連携に関わるものから実業務の複雑化に対応するマネジメント改革まで、従来の業務処理の課題を解決し、時代に合った方法に進化させるものです。復興道路の事業監理業務において早期開通に貢献するなど、官民連携のマネジメント業務で実績を積みつつあります。今後は対応できる社員を増やし、当社事業の一つの柱に育てていきます。また、近年、自然災害が多く発生していますが、発災後直ちに現場に派遣する災害査定チームや復興計画支援などの業務も、社会貢献の面からも重要で、より対応力を高めるべく組織マネジメントの観点から強化しています。

ワーク・ライフ・シナジー

働き方改革は、すべての社員が、「自身の成長」、「社会への貢献」、「健康な生活」を実感できる職場環境を構築し、組織と個人の生産性を最大化することを目的に進めています。そのために必要な施策を進め、結果として創出された時間を自身の成長に活かし、これまで以上の「仕事と人生の充実」を獲得する「ワーク・ライフ・シナジー」の実現を目指しています。社員全員が働く歓びを実感できる会社にすることが私の役割だと認識しています。

信頼され必要とされる企業グループへ

健全な財務体質をベースに、競争力のさらなる強化、仕事の効率化、企業統治体制の充実を継続し、社員を中心とした全てのステークホルダーから、信頼され必要とされる企業グループへ成長させていきます。

「インフラの力」を引き出すビジネスモデルの創造

挑戦をもって成長していく

再生可能エネルギー事業の展開

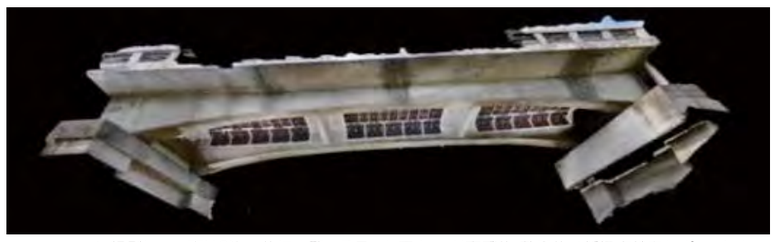
2015年に清流パワーエナジーを設立、岐阜県内に水素ステーションを展開するとともに、燃料電池システム「G-FORCE®」を販売しています。2018年、地域未来牽引企業にも選定されました。　2018年にはふじおやまパワーエナジーを設立し、木質バイオマス発電所の管理運営とともに、発電過程で生み出される熱供給等のエネルギーサービス事業等、周辺施設と連携し地域に密着したマネジメント事業を展開していく予定です。今後も再生エネルギーに関する事業を地域とともに展開していきます。

岐阜県内に配布された水素ステーション告知ポスター▶

インフラ点検ロボットの開発と活用

橋梁点検における近接目視の支援を目的とした飛行ロボット「マルコ®」を共同開発※しました。現在、点検作業の試行とシステムの改良を進めています。社会実装へつながるよう、本技術の利用をオープンにしてロボット活用の普及に努め、目視点検の効率化に貢献すべく体制を準備中です。

▲飛行ロボット「マルコ®」



▲撮影した写真は3次元的に閲覧することもでき、より直感的・効率的な橋梁点検をサポートします

※「国立研究開発法人産業技術総合研究所」の支援 のもと、次世代型ロボットの開発に強みを持つ「川田テクノロジーズ株式会社」 との共同開発

防災減災対策パッケージ

これまで培ってきた耐震・津波シミュレーション・斜面崩壊予測・粘り強い防波堤などの解析技術と道路ネットワークの評価技術を組み合わせ、津波、高潮、斜面崩壊、活断層、液状化などの災害に備えた防災減災対策の統合パッケージを、当社研究所を中心に大学等の各機関と共同研究により開発しています。AI技術を活用した維持管理の技術開発と合わせ、自治体における補修補強検討業務などにおいて、面的な防災・減災に対する効率的な道路インフラの整備、災害リスクの最小化を目指した検討に役立てています。

社会課題の解決に向けて
私たちは誠実に技術に向き合い
確かな品質のインフラサービスを提供していきます

大日本コンサルタント株式会社
NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO.,LTD.